

平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年1月28日

会社名 株式会社サンウッド

(JASDAQ・コード番号：8903)

(URL <http://www.sunwood.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 中島 正章

責任者役職・氏名 取締役管理部長 高畠 利治

TEL : (03) 3539 - 7142

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容) 税効果会計の適用及び貸倒引当金の洗替処理について一部簡便な方法を採用しております。

最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 [連結(新規)1社]

2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日～平成16年12月31日)

当期が連結初年度であるため、平成16年3月期第3四半期および平成16年3月期につきましては記載しておりません。

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	4,218	(-)	855	(-)	984	(-)	740	(-)
16年3月期第3四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考)16年3月期	-		-		-		-	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第3四半期	24,918	16	-	-
16年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	-	-	-	-

(注)平成16年11月19日付で1株につき2株の株式分割を行っており、平成17年3月期第3四半期の1株当たり四半期純利益は、期首に株式分割が行われたものとして計算しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

平成17年3月期は主力の不動産販売事業において柱となる大型2物件の竣工・引渡が第4四半期に集中するため、当第3四半期までの引渡実績はマンション45戸、土地1件にとどまりました。その結果、同期間の経営成績は上記の通りとなり、通期計画に対する進捗率が低くなっておりませんが、概ね想定範囲内です。

なお、当第3四半期までに連結対象会社である(有)SWプロパティーズにおいて発生した大型マンション事業「(仮称)赤坂2丁目プロジェクト」に係る先行経費は、販売管理費と営業外費用合計で1億9百万円です。

一方、販売活動については順調に推移しており、当第3四半期末現在の分譲マンション契約残高は、平成16年9月末に比べて25億06百万円増加し、138億54百万円となっております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	19,080	644	3.4	21,670 09
16年3月期第3四半期	-	-	-	- -
(参考)16年3月期	-	-	-	- -

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	5,252	14	5,730	2,683
16年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	-	-	-	-

〔財政状態の変動状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期末の総資産は、新規プロジェクトの仕掛品を中心とするたな卸資産の増加等により、190億80百万円となりました。

また、負債については、長期借入金及び前受金の増加や、転換社債型新株予約権付社債の発行等により、184億35百万円となっております。

一方、株主資本については、四半期純損失の計上により利益剰余金が減少しているため、6億44百万円となりました。

以上の結果、株主資本比率が3.4%と低水準になっておりますが、これは一時的なもので、平成17年3月期期末時点では、当期純利益計上による利益剰余金の増加を見込んでいるとともに、今後は転換社債型新株予約権付社債の株式へ転換が進むことが予想されるため、株主資本比率は改善される見通しであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期までの「現金及び現金同等物」(以下「資金」という。)は期首に比べて4億93百万円増加し、当第3四半期末の資金残高は26億83百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期までにおいて営業活動の結果使用した資金は52億52百万円となりました。

これは、仕掛品を中心とするたな卸資産が大幅に増加したことが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期までにおいて投資活動の結果得られた資金は14百万円となりました。

これは、主に固定資産の売却によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期までにおいて財務活動の結果得られた資金は57億30百万円となりました。

これは、事業資金の返済よりも借入が大幅に上回ったとともに、転換社債型新株予約権付社債の発行による資金調達を行ったためであります。

【参考1】四半期個別経営成績等の概況(平成16年4月1日～平成16年12月31日)

(百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期) 純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
17年3月期第3四半期	4,218 (48.7)	798 (-)	875 (-)	633 (-)
16年3月期第3四半期	8,223 (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(参考)16年3月期	9,530	307	162	92

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	12,833	751	5.9	25,253 24
16年3月期第3四半期	-	-	-	- -
(参考)16年3月期	13,030	1,434	11.0	96,699 73

(注) 1. 売上高以外の四半期情報については当期より開示を行っておりますので、前年同四半期については記載しておりません。

2. 売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

3. 平成 17 年 3 月期の連結業績予想（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	百万円 12,500	百万円 550	百万円 250

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期） 8,404 円 49 銭

〔業績予想に関する定性的情報等〕

当第 3 四半期における業績経過は概ね予定通り推移いたしておりますので、平成 16 年 11 月 15 日の中間決算発表時に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はございません。

【参考 2】平成 17 年 3 月期の個別業績予想（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり年間配当金	
				期末	
通 期	百万円 12,500	百万円 700	百万円 400	円 銭 2,500 00	円 銭 2,500 00

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期） 13,447 円 19 銭

上記業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて算出したものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

〔添付資料〕

当期が連結初年度のため、前第3四半期及び前連結会計年度につきましては記載しておりません。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当第3四半期末 (平成16年12月31日)	
	金 額	構成比
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	2,683,151	
売掛金	59,850	
たな卸資産	15,692,341	
その他	346,641	
貸倒引当金	170	
流動資産合計	18,781,814	98.4
固定資産		
有形固定資産	167,600	0.9
無形固定資産	790	0.0
投資その他の資産	129,916	0.7
固定資産合計	298,306	1.6
資産合計	19,080,121	100.0
(負債の部)		
流動負債		
買掛金	407,655	
短期借入金	1,850,000	
1年以内返済予定の長期借入金	3,500,000	
前受金	2,327,792	
賞与引当金	4,970	
その他	178,341	
流動負債合計	8,268,759	43.3
固定負債		
長期借入金	9,650,000	
新株予約権付社債	500,000	
退職給付引当金	14,199	
その他	2,564	
固定負債合計	10,166,763	53.3
負債合計	18,435,523	96.6
(少数株主持分)		
少数株主持分	-	-
(資本の部)		
資本金	508,500	2.7
資本剰余金	357,300	1.9
利益剰余金	207,314	1.1
自己株式	13,886	0.1
資本合計	644,598	3.4
負債、少数株主持分及び資本合計	19,080,121	100.0

2 . (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	当第3四半期 (自 平成16年4月1日 至 平成16年12月31日)	
	金 額	百分比
売上高	4,218,334	100.0
売上原価	4,150,726	98.4
売上総利益	67,607	1.6
販売費及び一般管理費	923,201	21.9
営業損失	855,594	20.3
営業外収益	28,909	0.7
営業外費用	158,224	3.8
経常損失	984,908	23.4
特別利益	40	0.0
特別損失	-	-
税金等調整前四半期純損失	984,868	23.4
法人税、住民税及び事業税	145	0.0
法人税等調整額	241,774	5.7
少数株主損失	3,000	0.1
四半期純損失	740,239	17.6

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)
区 分	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失	984,868
減価償却費	12,157
賞与引当金の減少額	3,030
受取利息	20
支払利息	158,224
売上債権の減少額	84,200
たな卸資産の増加額()	5,564,077
仕入債務の減少額	335,584
前受金の増加額	1,292,931
その他	95,342
小 計	5,244,726
利息の受取額	16
利息の支払額	115,698
法人税等の支払額	145
法人税等の還付額	108,014
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,252,539
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	7,498
有形固定資産の売却による収入	75,507
長期前払費用の増加額	52,655
その他	491
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,862
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の減少額	2,470,000
長期借入金の借入による収入	7,750,000
新株予約権付社債の発行による収入	500,000
配当金の支払額	55,616
自己株式の売却による収入	6,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,730,683
現金及び現金同等物の増加額	493,006
現金及び現金同等物の期首残高	2,187,144
新規連結対象会社の現金及び現金同等物の期首残高	3,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,683,151